

## 「平成26年度事務事業評価」に対する県民意見の募集結果

事業名	意見の要旨	県の考え方及び予算等への反映状況
香りの文化振興事業	<p>香りの森博物館の近所に住んでいるが、初めて事業のことを知った。体験事業などの情報発信が不足しているのではないか。例年同じような事業を実施してバラマキ的にお金を使うのではなく、知恵を絞り1年を通じて集客できることを考えて欲しい。</p>	<p>平成22年度から25年度まで県内各地で香水づくりの出張体験講座を開催し、今年度は新たに県内の親子を対象に調香体験教室を開催しました。</p> <p>体験事業の周知については、新聞、ホームページや、テレビ等を活用し情報発信に努めております。</p> <p>事業内容、情報発信につきまして、博物館の来場者数の増加につながるよう効果的な方法を検討していきます。</p>
地域コミュニティ情報化推進事業	<p>一部の人にしか利益が発生しない事業だと思う。また、23年度も24年度も成果指標の達成率が「著しく不十分」になっている。しかし、総合評価の方向性は、「現状維持」となっているので、事業の必要性和取り組みの姿勢が全くわからない。事業を廃止するべきではないか。</p>	<p>この事業では、広く県民の情報利活用能力向上のため、情報コミュニティセンターの運営や無料のセミナーの開催に取り組んでいます。</p> <p>情報コミュニティセンターでは、県内に情報リテラシーや情報セキュリティを上げる講師となる人材を育成しています。</p> <p>そのため、成果指標は、育成した講師が活動する県内NPO法人のIT講習会参加者数としております。</p> <p>関係NPOからは、安全安心にITを利用するための情報活用能力向上の取組に大いに役立っているとの声をいただいておりますが、事業の効果をさらに高めるため、昨今、頻発しているワンクリック詐欺などのネットトラブルへの対応研修など、県民への情報提供や啓発が求められる内容に適宜見直しながら引き続き取り組みを進め、県民の情報活用能力に努めてまいります。</p>

## 「平成26年度事務事業評価」に対する県民意見の募集結果

事業名	意見の要旨	県の考え方及び予算等への反映状況
世界農業遺産ブランド推進事業	世界農業遺産の取り組みは評価できるが、成果指標や効率性指標が設定できないような事業を実施する必要性があるのか。	<p>世界農業遺産の取組については、認定地域自らがモニタリングを行い、その活力を維持すべきとの勧告が、国際連合食糧農業機関（FAO）からなされています。</p> <p>現在、農林水産省では有識者からなる専門家会議を立ち上げ、平成27年度からの各地域でのモニタリング実施に向けて、その手法や統一的な評価方法の検討を行っています。</p> <p>今後は、そこで示される手法等に沿って、本県もモニタリングを実施していくこととしています。</p> <p>県としては、今後とも、認定された地域の営みを次世代に継承するとともに、ものづくりや交流人口の拡大に結びつけ、地域の活力を創造するために取組を推進していきます。</p>
生活排水処理施設整備推進事業	生活排水処理率が全国平均以下ということを知った。全国平均以下にも関わらず、今後の総合評価で「現状維持」という方向性を出すのはおかしい。早急に方向性の改善と生活排水処理率向上のための対策を求める。	<p>県で従来から生活排水処理施設の整備を積極的に推進しており、その取組姿勢を継続するという趣旨で「現状維持」としており、早急な整備に向けた取組は引き続き行っています。</p> <p>具体的には、平成26年度に着手した大分県生活排水処理施設整備構想の見直し作業において、整備に時間を要している下水道区域のうち、住宅が密集していないところは浄化槽区域へ変更するなど、より効率的で柔軟な整備に改めるよう事業主体の各市町村に対して促していきます。</p> <p>また、市町村が行う各種生活排水処理施設整備の財政支援を継続するとともに、平成26年度に創設した合併処理浄化槽への上乗せ補助事業について、対象区域の拡大も検討しているところです。</p>